



第36回強歩大会を迎えるにあたって

いよいよ 30 日 (水) に強歩大会が実施されます。今大会は、台風 19 号の影響による釜無川の防災工事のため、男女とも 13.8 km に短縮しての実施となります。生徒の皆さんが日頃の練習の成果を発揮して、強歩大会の目的である「自ら目標を設定し、主体的・意欲的に取り組むとともに行事を通して感謝する心や思いやりの気持ちなど協働性を育み、完走・完歩を目指すことにより充実感や達成感などの自己肯定感を育成する。」ことが達成できるよう期待しています。

創立以来、毎年実施されてきた本校の伝統行事である強歩大会は今年で 36 回目を迎えます。当初は学校をスタートして国道 20 号線を双葉方面に向かい、現在の赤坂ドラゴンパーク付近から茅ヶ岳広域農道に入り、明野方面に北上して折り返すコースでした。往路は富士山を背に八ヶ岳や茅ヶ岳を目指し、復路は富士山に向かって力を振り絞って走る光景が浮かんできます。後に距離数の変動があったようですが、平成 8 年度までは男子が 42 km、女子が 34 km で実施されていました。その後、平成 10 年から男子 32 km、女子 20 km に短縮され、平成 19 年からは現行のアルプス通りから釜無川のサイクリングロードを往復するコースに変更されて現在に至っています。当時の広域農道は交通量が少なく信号機もほとんどないため、強歩大会に適したコースでした。しかし、年を追うごとに交通量が多くなり歩道のないコースのため、安全面で支障が生じ、コース変更を余儀なくされたようです。また、国道 20 号線沿いを往復することで、当時から P T A をはじめ関係諸機関の多大な協力や支援をいただきながら大会を実施していました。

強歩大会が創立以来続いているのは、生徒へ与える教育的効果が計り知れないことが最大の要因であると考えます。現在も当時と変わらず、P T A や警察等、多くの方々に協力や支援をいただきながら大会を実施しています。生徒の皆さんには、この伝統ある強歩大会を通じて何かを学んで欲しいと思います。そのためには、大会の主旨を充分理解し、生徒一人ひとりが安全に留意して行動しなければなりません。無理な判断や無理な行動が事故を招きます。この伝統を引き継ぐためにも、真摯な姿勢で強歩大会に臨みましょう。



第 7 回大会広域農道双葉付近の様子



第 35 回大会アルプス通りの様子

改訂ポロシャツが決定しました。



全校集会でお伝えしたポロシャツの改訂について、生徒アンケート、職員アンケート結果を踏まえて最終決定しました。ボタンホール・KS マークの色を紫に決定し、ボタンは男子が淡いグレー、女子は淡いピンクのボタンを採用すること決定しました。値段については、4,000 円 (税込) です。

生地は速乾性、伸縮性に優れており、男女別にスタイルを分けて展開します。襟の形状から前立ての裏地まで「昭和らしさ」を求めた一品に仕上がりました。制服のマイナーチェンジと合わせて、令和 2 年度の入学生から移行します。尚、在校生 (現 1, 2 年生) も購入はできます。是非、リニューアルされる制服を楽しみにして下さい。

「チャレンジ・ザ・REIWA」

- ☆交通事故・・・全校で20件台に減らそう！
- ☆5分前遅刻・・・学年で年間40台を目指そう！
- ☆1ヶ年皆勤・・・クラスで60%以上を目指そう！

交通事故 前期終了時点で15件 ～過去、最も少ない事故件数～

本校の昨年度の事故発生件数は31件、違反については6件という状況でした。本年度については、事故件数が前期のみですが15件という状況で、今までに最も少ない件数となっています。生徒のみなさんの交通安全への意識の高さが、このような結果につながったのだと思います。

学年別についてみますと、2年生の事故が昨年との同時期の比較では大幅に減少（H30：10件⇒5件）しています。1、3年生は、1年生（H30：3件⇒4件）、3年生（H30：6件⇒6件）となっており、ほぼ同数でした。例年、年度当初において1年生に自転車の事故・転倒が多く見られることから、「保健」の授業では交通安全の単元を前倒しする形で学習しました。また、今年は雨天のため実施できませんでしたが、自転車の走行技術の向上を目的とした自転車安全運転講習会も計画していました。このような取り組みが事故件数減少につながっていることと思います。

注視しなければならないものが「もらい事故」といわれるものです。昨年もありましたが、今年度も8件（自転車：7件、バイク：1件）起きています。特に自転車が被害に巻き込まれる案件が多く、要因としては交差点内の事故と左折車に巻き込まれる案件が複数ありました。交差点内の走行（危険回避できるスピードと運転技術）に十分注意するとともに車両の右左折等、危険察知する予測力も大切です。事故・違反は気をつけていても遭遇する可能性もあります。交通事故・違反の防止のため「気の緩みや」「慣れ」「たぶん大丈夫」等の主体要因に関する意識を更に高め、事故・違反を前期以上に減少させていきましょう。生徒のみなさんの自覚に期待します。

令和元年前期交通事故・違反の発生状況

I 年別推移

年度別	H29	H30	R1
事故	46(24)	31(19)	15
違反	3	6(1)	4

令和元年度の件数、状況は前期までのものである。

II 令和元年度の状況

1 月別発生状況

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期
事故	3	6	0	0	2	4	15
違反	0	2	1	0	0	1	4
H30事故	4	2	7	3	1	2	19

2 曜日別発生状況

曜日別	月	火	水	木	金	土	日
事故	3	2	0	0	4	6	0
違反	2	0	0	0	1	0	1
H30事故	2	2	6	5	2	1	1

3 事故発生状況

内容	件数	H30前期
バイクと車	1	6
バイクと自転車	1	0
バイクと歩行者	0	0
自転車と車	12	11
自転車と自転車	1	2
自転車と人	0	0
バイク自損	0	0
自転車自損	0	0
その他	0	0

※乗組の記載の無い物が本校生徒

4 けが

内容	件数	H30前期
入院	0	0
骨折	2	1
軽症	7	12
ケガなし	6	7

3 違反発生状況

内容	件数	H30前期
一時停止違反	3	1
二段階右折違反	0	0
通行区分違反	0	0
速度超過	0	0
けん引	0	0
その他	1	0
自転車違反	0	0

4 学年別

学年別	1年	2年	3年
事故	4	5	6
違反	0	0	4
H30事故前期	3	10	6

5 男女別

男女別	男	女
事故	9	6
違反	3	1
H30事故前期	9	10

III 平成30年度の状況

1 事故発生状況

内容	件数
バイクと車	13
バイクと自転車	1
バイクと歩行者	0
自転車と車	14
自転車と自転車	3
自転車と人	0
バイク自損	0
自転車自損	0
その他	0

※乗組の記載の無い物が本校生徒

2 けが

内容	件数
入院	0
骨折	1
軽症	19
ケガなし	11

3 違反発生状況

内容	件数
一時停止違反	3
二段階右折違反	1
通行区分違反	1
速度超過	1
けん引	0
その他	0
自転車違反	0

4 学年別

学年別	1年	2年	3年
事故	7	15	9
違反	2	2	2

5 男女別

男女別	男	女
事故	11	20
違反	4	2

☆5分前遅刻

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期
1年合計	8	3	2	7	6	10	36
2年合計	3	3	2	3	8	3	22
3年合計	5	5	0	1	4	1	16
全体合計	16	11	4	11	18	14	74

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期
1年合計	0	1	3	3	6	6	19
2年合計	7	1	1	6	9	5	29
3年合計	2	2	1	9	8	9	31
全体合計	9	4	5	18	23	20	79

H30年度との比較では、前期終了時点では5件増加しています。

- ・1年生は昨年の36件と比較すると大幅に減少しています。
- ・2年生は29件であり、昨年度より減少していますが、7月以降増え続けているのが気になります。
- ・3年生は最も多く31件でした。2年生と同様に7月以降増え続けているのが心配です。

学年目標の40件台を目指す上で、夏休み明けの増加が顕著に現れた結果となりました。全学年とも後期の巻き返しに期待します。

☆1カ年皆勤

- ・学年別に見ると1年生：71.6%、2年生：62.7%、3年生：65.4%となっています。クラス別では、1-3が82.5%で最も皆勤者の割合が多いです。続いて3年1、3、6組、2年5組、1年4、5、6組が70%以上を記録しています。